



新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は大変お世話になりました、心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響が世の中全てに色濃く出た1年でしたが、年末年始も感染者増加が止まらず、明日にでも緊急事態宣言が発出される見込みとなっています。ライオンズでも昨年は、シンガポール国際大会中止に始まり、濟州島 OSEAL フォーラムも中止となりました。多くのことが例年通りできないなか、「新しい形への挑戦」をガバナーズ・スローガンとして、第1回キャビネット会議ではリアルと ZOOM のハイブリッド会議を初めて試させていただきました。以降、幹事団定例会や地区 GAT 会議、さらには青年アカデミー委員会主管の ZOOM 大交流会でもリモート会議を活用させていただいております。

一方、ガバナーズ・テーマ「傾聴と対話」に基づき、地区ガバナーとして 330-A 地区のより良き運営のために、多くのクラブの例会やアクティビティに自ら参加させていただくだけでなく、同様に多くのクラブの例会やアクティビティに参加してご意見を伺わせていただく「ご意見伺い隊」を組織し、年内に 50 を超えるクラブに訪問させていただきました。本年もできる限り多くのクラブに「ご意見伺い隊」を派遣させていただき、伺ったご意見を地区運営に反映させていきたいと考えております。

また、アクティビティ・スローガン「輝け！クラブ 楽しもう ライオンズライフ」に基づいて、(コロナの状況にもよりますが) 本年2月22日にはオリンピック記念青少年総合センターにてアクティビティ・コンペティションを開催する予定です。新規部門・合同部門・継続部門と3つの部門に分かれて競う形となっており、GST アワード・FWT アワードもこのコンペティションにて決定することになっておりますが、皆様には他クラブのアクティビティについて知って頂き、自クラブの新規アクティビティの創設や更なる工夫へのヒントとしていただければ幸いです。

そして、昨年12月2日に「いわゆる設立総会」を開催させていただいた「一般社団法人東京地区ライオンズ」がいよいよ始動いたします。国際協会330-A地区と日本の法律に基づく一般社団法人で同じ団体としての活動の一貫性を保ちつつ、お互いに齟齬のないようにそれぞれの規定をつないでいく方針で、皆様のご意見を賜りながらさらにより良い方向に軌道修正していく所存です。

さて、年末年始の新型コロナウイルス感染者数増加に応じて、会議をできるかぎりリモート化したり事務局の時短・リモート化するなどの対策を早速取りたいと思います。今後も感染予防に十分に留意しつつ、皆様の健康や安全を第一に考えながらも、この状況の中でできることはなにかを模索・検討の上で実践していきたいと考えておりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も330-A地区の各クラブ、各メンバーの皆様が輝けますよう、ともに歩いてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

2021年1月6日

ライオンズクラブ国際協会330-A地区 地区ガバナー 進藤義夫